

九段坂公園整備地元説明会議事要旨

- 日 時：平成 29 年 7 月 24 日（月）19 時～20 時 30 分
- 場 所：九段さくら館 1 階 九段上集会室 洋室 AB
- 出席者：25 名(委員 6 名、参加者 10 名、千代田区 9 名)
- 議 題
 - (1)これまでの検討経緯等について
 - (2)九段坂公園整備について

■ 議事概要

(1) 田安門前歩道橋付近の歩行者導線について

○歩道橋はあのままの形で残るのか。歩道橋の足元付近の混雑がものすごい。歩道と歩道橋の脚の部分は幅員が広がらないのか。

⇒歩道橋は現在の状況ではこのままの形で残すのを前提として、現在の歩道側に幅員を広げるのは難しい状況である。そのため、公園側の銅像周りや階段を解消して平面の通路を設ける計画としている。

○靖国通りの都市計画決定ラインが南側に 3 m 拡幅する予定となっているが、車道が広がるのか。

⇒都では靖国通りの整備予定は当面ない。車道ラインは変わらず、歩道が広がるイメージである。

○横断歩道の設置は、混雑時にあだけの人がいる中では危険なことで賛成できない。

⇒横断歩道を検討し、設置ができれば、歩道橋と併用ができると考えている。いきなり、横断歩道のみにするのは考えておらず、イベント時等においても、横断歩道での通行が問題ないことが運用していく中で証明されれば、将来的には歩道橋が撤去できるのではないかと考えている。

○坂を登ってきて、なお、千鳥ヶ淵や市ヶ谷まで登る気にはならない。そのために歩く歩道等を検討しては。

⇒日本武道館からの人の流れを九段坂公園内のお濠沿いに導き、千鳥ヶ淵緑道や半蔵門方面にまでつなげられたらと考えている。

○いちよりの木が多く植えてあるが、歩く歩道等の施設を検討できるのではないか。

⇒日本武道館靖国通りが東京都管理の道路で、イベント時の露天対策として木を植え、また、植栽等で困った経緯等があると考えられる。東京都へは意見として伝える。

○歩道橋を撤去して、横断歩道を設置するほうが良いと思うが、すぐに歩道橋の撤去ができないのはなぜか。

⇒区の教育、子育て部門では、歩道橋を使うルートが小学校の通学路にも指定されており、また、園児等が北の丸公園等との行き来をしている状況を考えると慎重な対応をお願いされている。一方、年少の幼児にとっては、階段の利用の危険性もある。安全性についての認識の違いという点もあるかと考える。

横断歩道が設置できたとしても歩道橋との併用したうえで横断歩道の利用状況を確認した時点での撤去を目指すとしている。都や警察と協議を進めたい。

(2) 銅像等について

○銅像等を説明板なので飾るのでなく、情報提供（wi-fi）の方法や案内等も複数カ国語で行う等について検討すべき。

⇒北の丸公園の一部としてさくら祭りなどの機会を捉えて情報提供等を行なっている。情報提供の方法などは検討課題であり、北の丸地域委員会でも提案されている。意見の内容を参考にさせていただき、検討していきたいと思う。

○大山巖像は、移設してコンパクトにまとめて、空間を有効利用できるとよい。

○銅像類の耐震性は、確認するのか。

⇒それぞれの関係者の確認を取りつつ、配置や説明内容等を検討したい。銅像類の現状については、点検調査を予定している。

(3) 消防署跡地の活用について

○土手の樹木で濠側が見渡せないため、見晴台等が設置できると良い。

⇒2020年のオリンピック前に竣工する事を考えると空間整備を優先して進め、その中で可能な休憩や展望の場としてベンチ等の設置も検討したい。

そのため、大きな構造物等の設置も含んだ整備はオリンピックまでには困難な状況と考えている。

(4) その他

○防犯カメラの設置は必要ではないか。

⇒カメラの設置は検討する。

○今回の説明会の周知が足りない。公園内への周知もない。開催の情報提供をホームページであることを検討してはどうか。

⇒公園内には、開催通知を貼らせていただいている。開催通知については、対象が地元の方や利用者ということで、今回の場合は行っていなかった。今後は検討したい。

○今後どのようなスケジュールで進めるのか。

⇒今後設計を平成30年まで行い、平成32年1月には完成させる予定。

○これまであった意見などへの回答、対応等も含めて、説明はしたほうが良いと思う。

⇒オリンピックまでの整備を考えると時間がないのが事実。そのため、設計を前に進めなければならず、今後も地元協議会と情報共有しながら進めていくことを基本としたい。

○議事録等情報の開示等はどうか考えているのか。

⇒どのような方法があるのかも含めて検討していきたい。